

ケイトリン通信

平成30年
(2018年) 11月30日
明石市立明石商業高等学校
明石市魚住町長坂寺1250
電話番号 (078) 918-5950
発行責任者 西 真未

先日、アワーズホールで行われた芸術鑑賞会での落語の感想をケイトリンに聞いてみました。日本の伝統芸能ということでケイトリンにとって少し難しいかと思いましたが、楽しめたようでよかったです。また、12月2日には日本で初め



ての検定試験「JLPT 日本語能力試験」に挑戦します。4月からの留学生生活の集大成として頑張っています。

落語の感想

木曜日に落語を見に行きました。皆は始めにめんどろくさがついていたけど最初の人が話始めた時から皆の意見はすぐに変わりました。すごく面白くて私だけ違って分りました。

します。特に政治についてみえます。政治家は芸能人みたいに有名けどよく嫌われているから皆はその人がぼけともう思っています。たとえば、トランプ大統領の行動についてみているのは2016の統一地方選挙の時から人気がありました。

ボランチア達も面白かったです。特にあのひざまくらの子。あ、それがぼけとつっこみ」と思いました。ぼけとつっこみはあんまり英語の Comedy に使われていません。代わりに一人だけは世界に



しいです。そしてケイトリンには今回、オーストラリアの文化である「ギャップイヤー」についての紹介をしてもらいました。高校を卒業した18歳の生徒が、すぐに大学進学するのではなく、ケイトリンのように海外留学をしたり、友達とバックパックで旅行したり

するものです。オーストラリアの大学は日本のように入学試験があるわけではなく、高校時代の成績で決まるのでギャップイヤーが可能となっています。残すところケイトリンの日本の滞在も1カ月ぐらいなので、ぜひ色々な話をケイトリンとしてみてください。



私の前の学校の制服

オーストラリアの太陽の光が強いからがんにならないように生徒は征服の帽子をかぶらなさいません。かみをしばらなくちゃ



いけません。女子もネクタイを占めるけど男子のネクタイとはちよつと違います。くつはかわでできていないとだめけど足の全部をかきこむなら自由に買います。そして perfect 生徒

会より上の生徒達) はあの黒と黄色のブレザーを着てもいいです。女子の征服はドレスか私が着ているズボンとシャツです。ピアスは付けてもいいけど派手の



JLPT

練習にはフラッシュカードのアプリを使って漢字の形と読みと意味を覚えていきます。インターネットからダウンロードした練習質問もしています。電車で帰る時とかちよつとした時間がある時にそうしています。



ピアスカ何かに引かかるかもしれないピアスはだめです。小学校でもピアスはあってピアスします。ちなみに私は9才の時からピアスをしていました。



Gap year

オーストラリアに gap year と言うことがあって私は今しています。Gap year は卒業した後に大学とか就職に入る前に一年間の休みを取ることで。Gap year に人はさまざまなことできます。金を貯めていた人達は世界旅行とか留学ができます。Working holiday と言うのがあるそれは旅行しながらバイトをすることです。Gap year にバイトしれない人もいます。その人は多分何かのために金を貯めています。Gap year にボランチアをする人もいます。Gap year に何でもできるけど次の年に大学行って高校の成績のメリトで入りたいなら gap year を始める前に同い年の子と一緒に受験します。そして大学に受け入れられていたら大学の入学を遅らせらなさいません。そうしたら次の年、普通に二歳年下の子と一緒に大学を始めます。